

# まちづくり評価シート

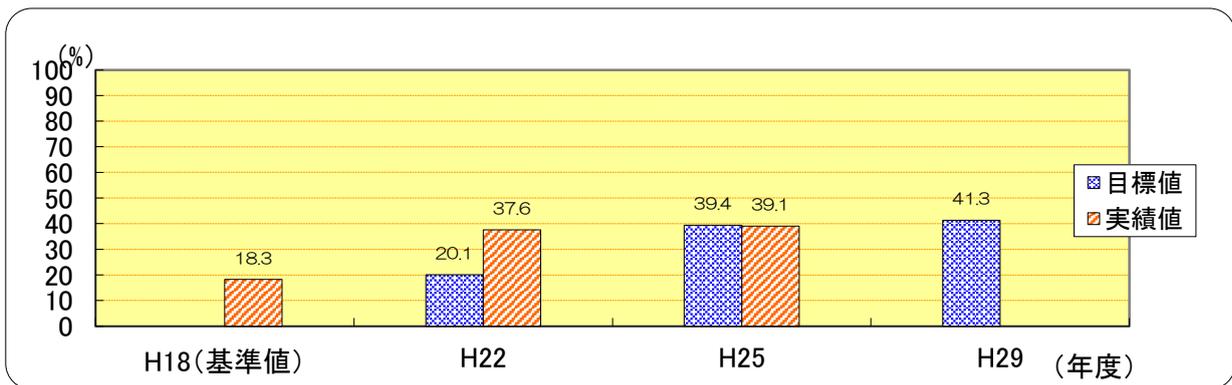
## 教育部【担う分野:Ⅳ 教育分野】

教育課【担う柱:1 地域に開かれた快適で安全な学校づくり】

### ◆まちづくり（成果目標）の達成状況

**全体目標** 学校・家庭・地域との関わりの中で、児童・生徒が自ら学ぶ力を持ち、心豊かにいきいきと育っている

指標名	学校・家庭・地域の協力により、子ども一人ひとりに学力、体力、社会性、人間性が身についていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析 学校補助教員や特別支援学級等支援職員を配置し、少人数指導やチームティーチングを実施することにより、児童・生徒が個々の学習状況にあった、きめ細かな指導や支援を行うことができた。また、学校施設や設備の整備、校舎の改造工事やプールの改修工事を実施したことにより、快適で安全な状態で児童・生徒が学習活動に取り組むことができた。平成25年4月に実施した、市民満足度調査結果は39.1%となり、達成状況としては、晴れマークが表示されているが、目標は達成できていない。一方、地域の人にあいさつする児童・生徒の割合は微増にとどまり、目標値を達成できなかった。また、朝食を食べない児童・生徒の割合は依然として高く、正しい食習慣を身につけ健康に育つように、食育指導にも一層力を入れ、今後も達成率を向上できるように努めていく。
目標値	%	—	39.4	
実績値	%	18.3	39.1	
達成率	%	—	99.2	
達成状況	—	—	☀	



### 全体目標に対するまちづくり評価

平成25年4月に実施した市民満足度調査結果は39.1%となり、目標は達成できていない。また、地域の人にあいさつする児童・生徒の割合や、朝食を食べない児童・生徒の割合は依然として改善が必要であり、今後も学校・地域・家庭が連携し、子どもたちの社会性、人間性を育てていく取り組みをしていただきたい。

学校は一般的に閉鎖的になりやすいので、学校評議員を広く求め、その見識を活かして学校教育の専門性や客観性の保持と情報公開を図ることにより、より一層の地域に開かれた学校づくりを進めていただきたい。

**個別目標① 児童生徒が心身共に健康な状態で、適切な教育を受けている**

指標名 学校が好き、授業が楽しいと感じている児童・生徒の割合						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	91.0	93.0	95.0	・学校補助教員配置事業 ・養護教諭配置事業 ・英語指導助手(ALT)配置事業 ・就学指導事業
実績値	%	85.0	79.7	81.8		
達成率	%	—	87.6	88.0		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	保護者等は、学校からの情報提供や教育相談により、子どもの興味や発達状況に合った教育を受けさせた。					
市役所	少人数指導やチームティーチングの実施により、児童生徒は個々の学習状況にあった指導や支援ができる体制をとった。					

指標名 特別支援学級等支援職員配置人数						
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	14	14	15	特別支援学級等支援職員配置事業
実績値	人	8	14	17		
達成率	%	—	100.0	121.4		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	一宮児童相談センター・一宮東養護学校・子育て支援課などの関係機関との交流や情報を確認しつつ、家庭での学習や正しい生活習慣を身につけた。					
市役所	情緒障害、多動性障害等の児童生徒の教育支援を行ったことにより、教育内容を高めることができた。					

**目標達成のための今後の展開方針**

補助教員を配置することについては、各学校の学級数により、適正な職員配置を図っていくうえにおいて、今後も職員の増員を考えることが必要である。  
 教員一人一人の授業力向上を図るため教師力向上セミナーを利用し、指導助言を行うことが必要である。  
 特別支援学級等支援職員や養護教員の配置については、学校の実情調査をしながら、適正な配置を図っているが、これに併せ、増員や時間数を増やすことなどが必要である。

**個別目標に対するまちづくり評価**

発達障害のある児童生徒の教育ニーズにきめ細かく応えるためには、支援職員の増員が必要となるので、この点についての検討をさらに進めていただきたい。

個別目標② 学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの社会性、人間性がはぐくまれている

指標名 地域の人にあいさつする児童・生徒の割合						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	90.0	92.0	94.0	・生徒指導推進事業
実績値	%	80.2	79.5	82.0		
達成率	%	—	88.3	89.1		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	地域の子どもたちに目を向け、非行に走らないように声かけをし、あいさつを交わしたりしながら、互いの信頼関係を築いた。					
市役所	啓発・情報交換・実践活動等により、中学校区を単位として学校、家庭、地域が連携を図り、非行防止等を啓発した。					

指標名 職場体験学習生徒受け入れ延べ事業所数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	事業所	—	310	320	330	・生徒進路指導事業
実績値	事業所	273	340	348		
達成率	%	—	109.7	108.7		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	事業所は積極的に職場体験学習の生徒を受け入れた。					
市役所	生徒自身の生き方について職場体験、啓発的体験を得ることにより、生徒が進路を主体的に考え、選択する能力の育成を図った。					

指標名 地域の行事に積極的に参加している児童・生徒の割合						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	81.0	85.0	89.0	・学校評議員事業 ・総合学習推進事業
実績値	%	69.5	79.4	78.9		
達成率	%	—	98.0	92.8		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	学校評議員や地域の人々が気軽に訪問し、学校に対して情報等を提供するような学校づくりを支援した。					
市役所	各学校が、学校評議員から意見を聞き、学校が家庭や地域と連携しながら特色ある教育活動が展開できた。					

### 目標達成のための今後の展開方針

学校、家庭、地域との連携を密にし、学校教育の推進を図る。  
ハローワーク、商工会議所等関係機関とさらに連携を密にして、受け入れ事業所の拡大を図る。  
学校評議員の意見を広く求め、さらに開かれた学校づくりを推進する。  
小中連携して、不登校対策を推進する。

### 個別目標に対するまちづくり評価

学校は一般的に閉鎖的でないやすすいので、学校評議員を広く求め、その見識を活かして学校教育の専門性や客観性の保持と情報公開を図ることにより、より一層の地域に開かれた学校づくりを進めていただきたい。

### 個別目標③ バランスのとれた給食や食育の実施により、子どもたちが正しい食習慣を身につけ健康に育っている

指標名 学校給食がおいしいと感じる児童・生徒の割合【小学校】						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	98.0	98.0	99.0	・食育事業 ・給食企画事業
実績値	%	98.3	89.1	88.0		
達成率	%	—	90.9	89.8		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	食生活に関し、児童生徒、PTA・保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病を地域へPRでき地域交流が図れる。					
市役所	小中学校へ、給食時間の訪問を行い食育指導を実施した。また、チームティーチング授業においても食育指導の実施をした。					

指標名 学校給食がおいしいと感じる児童・生徒の割合【中学校】						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	98.0	98.0	99.0	・食育事業 ・給食企画事業
実績値	%	95.7	78.3	76.9		
達成率	%	—	79.9	80.4		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	食生活に関し、児童生徒、PTA・保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病を地域へPRでき地域交流が図れる。					
市役所	小中学校へ、給食時間の訪問を行い食育指導を実施した。また、チームティーチング授業においても食育指導の実施をした。					

指標名 朝食を食べない日がある児童・生徒の割合【小学校】						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	0.0	0.0	0.0	・食育事業 ・給食企画事業
実績値	%	7.3	8.5	8.8		
達成率	%	—	0.0	0.0		
達成状況	—	—	↑	↑		
取り組みの状況						
市民	食生活に関し、児童生徒、PTA・保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病を地域へPRでき地域交流が図れる。					
市役所	小中学校へ、給食時間の訪問を行い食育指導を実施した。また、チームティーチング授業においても食育指導の実施をした。					

指標名 朝食を食べない日がある児童・生徒の割合【中学校】						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	3.0	3.0	2.0	・食育事業 ・給食企画事業
実績値	%	13.8	13.7	13.4		
達成率	%	—	21.9	22.4		
達成状況	—	—	↑	↑		
取り組みの状況						
市民	食生活に関し、児童生徒、PTA・保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病を地域へPRでき地域交流が図れる。					
市役所	小中学校へ、給食時間の訪問を行い食育指導を実施した。また、チームティーチング授業においても食育指導の実施をした。					

指標名 学校給食における地場産物の割合						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	35.0	35.0	35.0	・食育事業 ・給食用物資購入事業
実績値	%	20.0	27.8	36.1		
達成率	%	—	79.4	103.1		
達成状況	—	—	☁	☀		
取り組みの状況						
市民	献立に沿って安価で栄養バランスに富んだ地域農産物を含めた食材を、学校からHPなどで発信することによって毎日の給食の内容が地域の方へも伝わり給食の理解が深まる。					
市役所	給食センター運営委員会を開催し、年間給食実施計画、物資納入業者の選定を行なった。献立作成委員会を開催し、献立に沿って安価で栄養バランスに富んだ食材を、地域農産物を含めた物資を物資選定委員会で協議し選定をした。					

目標達成のための今後の展開方針						
校長、教諭、PTAの各代表及び栄養教諭・学校職員で、より安価で良質、かつ安全な食材を選定し、栄養教諭・学校栄養職員の献立素案を基に、全小中学校の給食担当教諭と協議する。 望ましい食生活について、効果的・効率的に児童・生徒に指導し、PTAの試食会等を通して偏食による肥満や、生活習慣病について講義する。						
個別目標に対するまちづくり評価						
望ましい食生活に関し、児童生徒、保護者への指導のみでなく、学校を発信源として、肥満などの生活習慣病を地域へPR活動をすることで、地域交流が図れるよう努めていただきたい。						

**個別目標④ 教育を受ける環境が整備され、快適で安全な状態で児童生徒が学習活動に取り組んでいる**

指標名	学校施設や設備が整備され、快適で安全な教育環境の中で、児童・生徒が学習していると思う市民の割合					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	47.7	48.7	49.7	・学校教育推進事業 ・学校施設管理事業 ・学校用地事業 ・学校施設整備事業 ・学校施設改造事業 ・プール整備事業 ・空調設備設置事業
実績値	%	28.3	—	—	45.4	
達成率	%	—	—	—	91.3	
達成状況	—	—	—	—		
<b>取り組みの状況</b>						
市民	児童・生徒及びPTA並びに地域住民の清掃活動等により、学校施設及び周辺の美化環境が保持した。					
市役所	学校の創意工夫を凝らした、自主的な取り組みを支援した。 給水、電気、昇降機を始めとする各種学校設備の保守点検を行うとともに、普通教室数不足により臨時校舎の借り上げをした。また、予算の範囲内で必要な箇所の修繕、工事を実施した。					

指標名	学校施設の耐震化率					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	98.2	100.0	100.0	・校舎等耐震補強事業
実績値	%	61.8	100.0	100.0		
達成率	%	—	101.8	100.0		
達成状況	—	—				
<b>取り組みの状況</b>						
市民	学校施設の大規模工事において発生する学習環境や施設利用での不都合を理解し、円滑な工事の進捗に協力した。					
市役所	耐震診断結果に基づき、各小中学校の校舎及び体育館の耐震補強工事を実施し、耐震化が完了した。また、非構造部材について、教職員及び教育課職員による点検を行った。					

**目標達成のための今後の展開方針**

学校の創意工夫を凝らした自立的な取り組みを支援する。  
 非構造部材の耐震化について早期に対策を行う。  
 学校施設整備として、余裕教室の有効利用を検討する。  
 校舎の改造及びプールの改築・改修計画に沿って、遅滞なく工事を行い、国の交付金等の動向に注視する。

**個別目標に対するまちづくり評価**

非構造部材の耐震化への早期対策や、校舎の改造及びプールの改築・改修に対し、長期的な計画を立てていただきたい。

## 柱全体のまちづくり評価

### ◆柱全体の得られた成果

中学校区を単位として、啓発・情報交換・実践活動等を学校、家庭、地域が連携を図り、非行防止等の活動が実施され、即座の対応が図られた。  
職場体験等を実施した結果、その経験により生徒が自分自身で進路の選択する能力の育成を図ることができた。  
地域の中の学校として、学校、家庭、地域が一体となった情報の共有が図られた。  
食生活に関し、児童生徒、保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病などの理解を深めることができた。

### ◆柱全体の今後の課題

学校だけの対応は困難な状況であるため、地域との連携が不可欠である。  
職場体験学習において、関係機関とさらに連携を密にして、職場体験学習の受け入れ事業所の拡大を図る必要がある。  
学校評議員の意見を広く求め、さらに開かれた学校づくりを推進しなければならない。  
安価で良質かつ安全な食材を選定する。また、食育や望ましい食生活について、指導のみでなく、地域へのPRも必要である。

### ◆柱全体の今後の取り組みの方向性

学校、家庭、地域との連携を密にし、学校教育の推進を図る。  
職場体験学習の実施においては、ハローワーク、商工会議所等関係機関とさらに連携を密にして、職場体験学習の受け入れ事業所の拡大を図る。  
学校評議員の意見を広く求め、さらに開かれた学校づくりを推進する。  
食育や望ましい食生活について、児童生徒に指導するとともに、PTAの試食会等を通して地域へのPRを行う。

# まちづくり評価シート

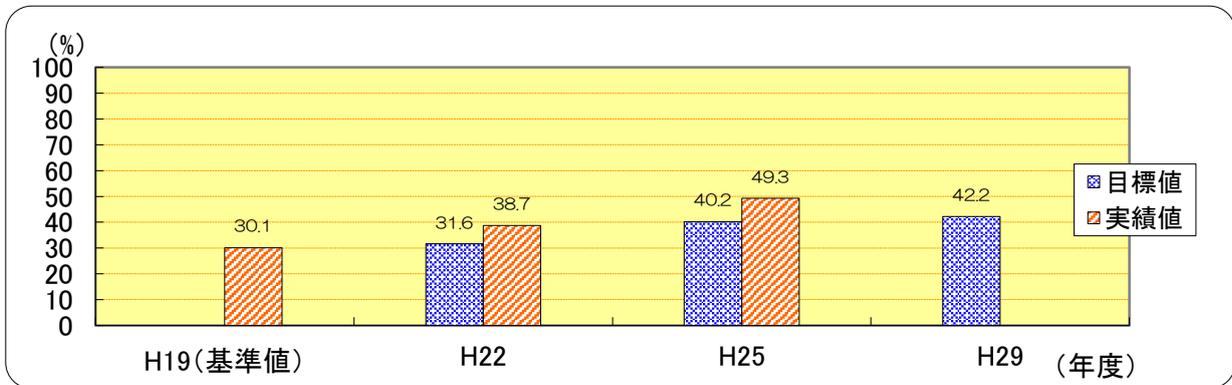
## 教育部【担う分野:Ⅳ 教育分野】

教育課【担う柱:2 将来にわたって活躍できる人づくり】

### ◆まちづくり（成果目標）の達成状況

**全体目標** 良好な教育環境が構築され、青少年の健全な育成が図られている

指標名	青少年が健全に育成されていると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H25	実績値の分析
目標値	%	—	40.2	教育委員会会議の定期的な開催、教育現場の訪問、他都市との意見交換などを通じて、情報を収集し、教育課題に迅速に対応したことにより、望む教育を受ける環境が整っていると感じる市民の割合はほぼ目標を達成することができた。このため、平成25年4月に実施した市民満足度調査結果は49.3%となり、達成状況としては晴れマークが表示され、目標値を上回ることができた。一方、不登校の児童・生徒の割合は高く、児童・生徒の心の悩みやいじめ不登校問題は大きな課題となっている。
実績値	%	30.1	49.3	
達成率	%	—	122.6	
達成状況	—	—		



#### 全体目標に対するまちづくり評価

平成25年4月に実施した市民満足度調査結果は49.3%となり、達成状況としては目標値を上回っている。しかし、不登校の児童・生徒の割合は高く、児童・生徒の心の悩みやいじめ不登校問題は大きな課題であるため、学校・家庭・地域が協力して取り組むよう努めていただきたい。

#### 個別目標① 地域社会が教育に関心を持ち、望む教育を受ける環境が整っている

指標名	子どもから大人までの教育環境が整っていると感じる市民の割合					主な事務事業
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	36.6	37.3	38.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会運営事業</li> <li>・教育調査事業</li> <li>・教育文化振興基金積立事業</li> <li>・表彰事業</li> <li>・横田教育文化振興事業</li> </ul>
実績値	%	35.0	—	—	43.0	
達成率	%	—	—	—	113.2	
達成状況	—	—	—	—		

#### 取り組みの状況

市民	教育委員会会議録、教育基本方針、教育委員会の点検評価等をホームページで閲覧することなどにより、教育的・文化的な教養の向上に努めた。
市役所	教育委員会会議を年間15回開催し、教育現場を訪問するなどして、教育の場を構築し、教育課題等諸問題について、迅速に対応した。また、文化的教養の向上又は教育的効果が認められたものに、栄誉を称え広く市民に知らせた。

目標達成のための今後の展開方針

市民の要望など地域に密着した教育行政を推進する。

個別目標に対するまちづくり評価

市民が気軽に学校を訪問できるような環境づくりを進めてほしい。  
学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換に積極的に参加してほしい。

個別目標② 子どもが健やかに育つ環境が整い、人間性豊かな子どもたちが育っている

指標名 不登校の児童・生徒数の割合【小学校】						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	0.3	0.3	0.2	・心の教室相談員配置事業 ・適応指導教室事業 ・いじめ・不登校対策事業
実績値	%	0.5	0.8	0.6		
達成率	%	—	37.5	50.0		
達成状況	—	—	↑	↑		
取り組みの状況						
市民	心の悩みなどを自分ひとりで抱え込まず専門の相談員に相談した。 いじめ不登校対策協議会にて、いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究した。					
市役所	各小学校に心の教室相談員を配置し、児童の悩みなどの相談を受けた。 不登校児童のために、適応指導教室を開設し、指導・支援を行った。 いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究、検討し実践に活かした。					

指標名 不登校の児童・生徒数の割合【中学校】						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	2.7	2.7	2.0	・心の教室相談員配置事業 ・適応指導教室事業 ・いじめ・不登校対策事業
実績値	%	4.5	4.0	4.0		
達成率	%	—	67.5	67.5		
達成状況	—	—	↓	↓		
取り組みの状況						
市民	心の悩みなどを自分ひとりで抱え込まず専門の相談員に相談した。 いじめ不登校対策協議会にて、いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究した。					
市役所	各中学校に心の教室相談員を配置し、生徒の悩みなどの相談を受けた。 不登校生徒のために、適応指導教室を開設し、指導・支援を行った。 いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究、検討し実践に活かした。					

指標名	家庭・学校・地域が協力して子どもたちの健全育成のために取り組んでいると感じる市民の割合					
	単位	H19 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	53.0	53.0	54.5	・ことばの教室事業 ・放課後子どもプラン事業 ・青少年問題協議会事業 ・少年センター事業 ・青少年健全育成推進事業
実績値	%	51.5	—	—	56.5	
達成率	%	—	—	—	103.7	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	布袋小学校、宮田小学校、古知野南小学校、藤里小学校の「放課後子ども教室」に参加した。青少年問題協議会で、青少年育成の基本方針を決定した。また青少年健全育成のために、街頭啓発を行ったり、講演会に参加した。					
市役所	小学校の余裕教室や体育館を利用して「放課後子ども教室」と「学童保育」を総合的に実施した。青少年の指導・育成等に関する調査・審議を行い、青少年育成の基本方針を決定した。また、少年相談窓口を開設し、街頭補導を実施した。青少年健全育成のために、街頭啓発、講演会を実施した。					

目標達成のための今後の展開方針
いじめ不登校対策として、適応指導教室「You・輝」、少年センター、小中学校15校における相談業務の充実を図る。 地域でのボランティア活動や体験活動の情報提供を行い、青少年の社会性、人間性の育成に努める。 放課後の子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保するため、学童保育と放課後子ども教室の一体的、あるいは連携した取り組みに努める。

個別目標に対するまちづくり評価
子どもたちが心の悩みなどを自分ひとりで抱えこまず、気軽に相談できるような環境づくりをさらに進めていただきたい。 ボランティア活動や体験活動の情報を提供し、青少年の社会性、人間性の育成に努めるとともに、放課後の子どもたちの健全な居場所づくりを確保するため、学童保育と放課後子ども教室の充実と更なる連携の促進を図っていただきたい。

## 柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果
教育現場の意見に基づいた議論を行うために、学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換をした。教育委員会においては、教育の課題、施策等について教育委員会委員と積極的に審議、意見交換をした。

◆柱全体の今後の課題
学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換に積極的に参加し、教育現場の現状や課題を的確に把握する。平成20年4月から教育委員会会議の内容をホームページで公開しているが、今後も情報公開を積極的に進めていく必要がある。 心の悩みを抱える児童・生徒やいじめ不登校問題は大きな課題であり、学校・家庭・地域が協力して取り組む必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性
学校・家庭・地域が連携し、地域住民の要望、意見等を取り入れながら、地域ぐるみで教育行政を推進し、社会に貢献できる人材を育む。

# まちづくり評価シート

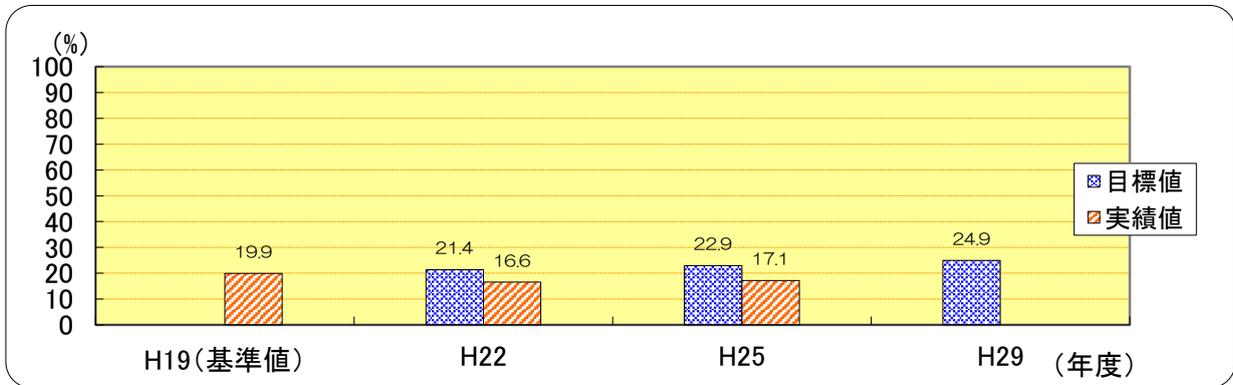
## 教育部【担う分野:Ⅳ 教育分野】

生涯学習課【担う柱:3 生涯を通して能力を伸ばし、活かせる機会づくり】

### ◆まちづくり（成果目標）の達成状況

**全体目標** 市民が生涯にわたって学習し、その能力を発揮する環境が整っている

指標名	生涯学習活動に参加している市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H25	実績値の分析
目標値	%	—	22.9	平成25年4月に実施した市民満足度調査結果は実績値は17.1%となり平成22年の実績値の16.6%と比較すると0.5ポイント増えている。いずれも年齢層が60歳以上の方が多く、18歳～59歳までの若者や勤労者層の市民参加が少ない状況となっている。そうした世代は、仕事や子育てが中心の生活を送っており、生涯学習活動への参加に繋がっていないことから、目標値に達成できていないと考えられる。
実績値	%	19.9	17.1	
達成率	%	—	74.7	
達成状況	—	—		



### 全体目標に対するまちづくり評価

生涯学習活動への意識や参加は、年齢層や生活スタイルによって大きく異なると思われる。60歳以上の高齢者は、現役世代と比べ時間に余裕もあり、自身の生涯学習活動への意識が高い。一方で現役世代は、仕事や子育てが生活の中心となり、時間的余裕が持ちにくい状況と思われる。生涯学習に対する市民満足度の高い行政を行うには、引き続き高齢者が参加して、生きがいづくりに寄与する事業を行うとともに、土日等に行う公民館講座など、若者や勤労世代でも参加しやすい講座を一層企画していただきたい。

### 個別目標① 市民が、自発的な学習活動を展開し、生きがいをもった生活を送っている

指標名	生涯学習講師人材バンク登録者数					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	150	155	165	企画運営事業
実績値	人	126	154	140		
達成率	%	—	102.7	90.3		
達成状況	—	—				

### 取り組みの状況

市民	PTA活動、子ども会活動などの行事において、生涯学習人材バンクを利用し、講師の依頼をした。
市役所	広報こうなん、ホームページによる啓発活動や公民館サークルへの登録依頼を行った。生涯学習人材バンクの一覧を作成し、学校、公民館、子育て支援センターなどへ配布した。

指標名 愛知江南短期大学と連携した講座の受講者数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	2,100	2,100	2,190	・成人教育事業
実績値	人	2,011	1,491	1,566		
達成率	%	—	71.0	74.6		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市と愛知江南短期大学が連携して実施した公開講演会、オープンカレッジに参加した。					
市役所	愛知江南短期大学と連携し公開講演会、オープンカレッジの開催に向けての準備を行い、公開講座等を開催した。					

指標名 一人当たりの図書等の貸出点数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	冊	—	4.2	4.5	5.1	・図書館管理運営事業
実績値	冊	3.3	4.0	4.1		
達成率	%	—	95.2	91.1		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	インターネットや利用者端末を利用し、図書の検索を行い貸し出しを受けた。図書館主催の読み聞かせ会、手作り絵本教室、ウッドバーニング等に参加した。					
市役所	市の施設において配本・返却サービスを実施し、利用者の利便性の向上を図った。					

目標達成のための今後の展開方針						
<p>人材バンクの活用をより活発なものにするため、市民だけでなく、学校や団体等にも呼びかけ、幅広い人材を確保し、また利用の促進を図っていくためのPRを行う。</p> <p>公開講演会への参加を呼びかけるため、広報や市ホームページだけでなく新聞への掲載や、市の施設以外の多くの市民が集まる場所へのチラシの配布などを行う。</p> <p>情報交換により市民サービスの向上を図ることが出来るよう、ボランティア同士が連携する場を設ける。</p> <p>公民館の空調設備が経年劣化により毎年修繕が必要となっており、冷媒として使用しているフロン-22も、2020年までには全廃され入手が困難となることから、公民館の空調設備を順次改修していく。</p>						

個別目標に対するまちづくり評価						
<p>各種団体に積極的にPRなどを行い、多様なニーズに対応できる講師の人材確保に努めていただきたい。</p> <p>公開講演会等の参加者を増やすため、愛知江南短期大学との連携を図り、積極的に開催をPRしていただきたい。</p> <p>ボランティアによる読み聞かせなどで、多くの集客を得ていることは評価できる。さらに、ボランティア同士の連携を図り、市民ニーズの把握やサービス向上に努めていただきたい。</p>						

個別目標② 市民が身近にスポーツを楽しみ、なれ親しんでいる

指標名 屋内のスポーツ施設の稼働率						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	85.0	85.0	85.0	・体育施設等維持管理事業
実績値	%	84.1	91.2	88.1		
達成率	%	—	107.3	103.6		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	各加盟競技団体(屋内競技)が行う市民スポーツ祭や定期的な練習を、体育会館競技場など屋内スポーツ施設で実施した。					
市役所	市民スポーツ祭などの情報は、広報などに記事を掲載して啓発に努めた。また、スポーツ人口を増やすため、各種体験教室や会員募集などの情報も広報などに記事を掲載して啓発に努めた。					

指標名 屋外のスポーツ施設の稼働率						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	33.0	34.5	36.3	・体育施設等維持管理事業
実績値	%	29.7	37.2	37.6		
達成率	%	—	112.7	109.0		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	各加盟競技団体(屋外競技)が行う市民スポーツ祭や定期的な練習を、市営グラウンドなど屋外スポーツ施設で実施した。					
市役所	市民スポーツ祭などの情報は、広報などに記事を掲載して啓発に努めた。また、スポーツ人口を増やすため、会員募集などの情報も広報などに記事を掲載して啓発に努めた。					

指標名 コミュニティ・スポーツ祭の参加者数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	7,000	7,000	7,000	・各種スポーツ大会開催事業
実績値	人	5,289	6,709	6,698		
達成率	%	—	95.8	95.7		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市内10小学校区で開催されたコミュニティ・スポーツ祭に参加した。					
市役所	コミュニティ・スポーツ祭の情報は、広報などに記事を掲載して啓発に努めた。					

### 目標達成のための今後の展開方針

屋内施設は、引き続き既存施設の整備を図り、安心・安全な施設運営を行う。  
また、新体育館建設に向けて新たな検討委員会を設置し、建設に係る基本計画書の作成などを行う。  
屋外施設は、公園敷地内に多く点在するため、まちづくり課とも連携・協力しながら整備を進めていく。  
コミュニティ・スポーツ祭については、種目を参加しやすいものに見直したり、PR方法も改善を図りたい。

### 個別目標に対するまちづくり評価

市民が身近に参加できるスポーツ大会であるコミュニティ・スポーツ祭に多くの市民が参加し、地域の交流ができたことや、屋内・屋外施設についての稼働率が目標値を上回っていることは評価できる。一方で、施設の老朽化が進んでおり、安全で快適な施設を利用できるよう、新体育館建設に向けて計画的に事業を進めていただきたい。

### 個別目標③ 男女が社会のあらゆる分野で対等なパートナーとして参画し、共にその責任を分かち合っている

指標名	審議会などにおける女性委員の登用率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	25.0	27.0	30.0	・男女共同参画推進事業
実績値	%	18.4	27.5	27.1		
達成率	%	—	110.0	100.4		
達成状況	—	—				

#### 取り組みの状況

市民	市が主催する委員会等の委員に公募した。
市役所	各課に対し、審議会等の委員の改選期には、女性委員の登用率が全体の30%以上になるよう に、積極的な登用を依頼した。 職員の男女共同参画への理解のため、研修会を行政経営課が実施した。

指標名	男女共同参画講演会やセミナーなどへの参加割合					主な事務事業
	単位	H17 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	70.0	70.0	70.0	・男女共同参画推進事業
実績値	%	60.5	94.4	85.4		
達成率	%	—	134.9	122.0		
達成状況	—	—				

#### 取り組みの状況

市民	男女共同参画について、理解を深める講演会等に参加した。 講演会参加の折、男女共同参画都市宣言の唱和をした。
市役所	広報、ホームページに男女共同参画についての記事を掲載し啓発に努めた。男女共同参画に関するパンフレットを作成し市内中学校及びセミナー等の折に配布した。

### 目標達成のための今後の展開方針

職員に対し、研修等を行い男女共同参画の推進についてより一層理解してもらおう。  
市民に対し、男女共同参画社会をわかりやすく理解してもらうため、講師の選定、タイトル等を各市町と情報交換をしながら身近に感じる講座を開催する。  
また、これからの社会は育児、介護、メンタルなどさまざまな事情で、男性も女性も休業する人は増えてくる。  
男女共同参画社会を市民に広く意識していただき、お互いに協力し家庭において家事や育児を分担し合うことにより、より充実した生活が送れるようになることを職員、市民へ啓発する。

### 個別目標に対するまちづくり評価

男女共同参画基本計画に基づいて、市民と協働で男女共同参画の実現に向けて取り組んでほしい。  
男女共同参画社会を推進することは、男女が対等なパートナーとして認め合う社会を作ることであり、地域の活性化に繋がると思われます。  
これからも、市民に親しみのあるセミナー、講座を開催していただき、啓発に努めてほしい。

## 柱全体のまちづくり評価

### ◆柱全体の得られた成果

生涯学習講演会、IT講習会、公開講演会、乳幼児学級等を開催し、市民のニーズに応えることができた。  
また、平成24年度公民館で実施した第Ⅲ期生涯学習講座「お天気よまやま話」は土曜日に開催したので、若い世代の参加に繋がった。

### ◆柱全体の今後の課題

高齢者の増加に伴い、「健康・生きがい・仲間づくり」をテーマ実施している高齢者教室の会員をより一層、増やしていく必要がある。  
また、若者や勤労世代でも参加できるような、講座内容や実施日を考える必要がある。

### ◆柱全体の今後の取り組みの方向性

公民館講座等を土曜日、日曜日に開催し、若者や勤労世代に参加してもらうような講座内容を考える。

# まちづくり評価シート

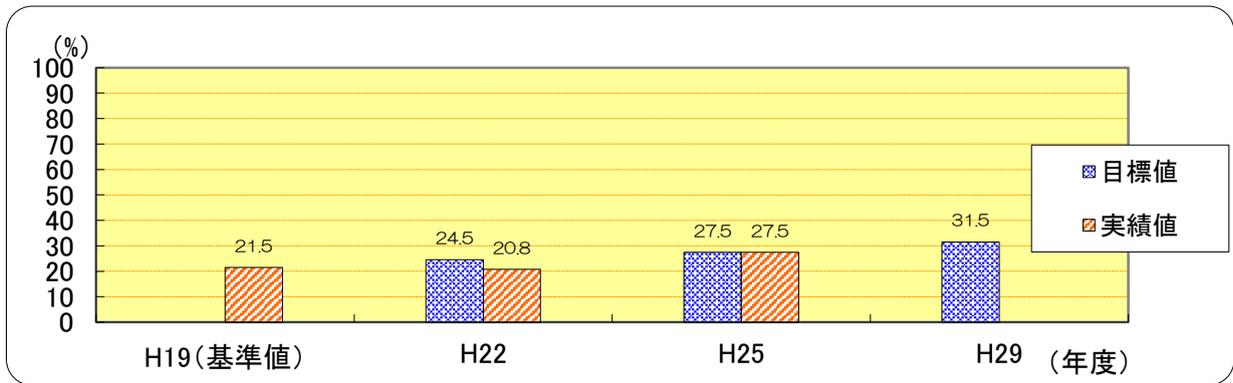
## 教育部【担う分野:Ⅳ 教育分野】

生涯学習課【担う柱:4 豊かな、創造性ある文化・交流活動の充実】

### ◆まちづくり（成果目標）の達成状況

**全体目標** 市民の文化活動や国内外の交流活動が活発に行われ、心豊かな生活を送っている

指標名	文化活動や交流活動により、心豊かな生活を送っていると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H25	実績値の分析 文化活動や交流活動により、心豊かな生活を送っていると感じる市民の割合が市民満足度調査により測定した結果、目標値と同数値となり目標が達成できた。
目標値	%	—	27.5	
実績値	%	21.5	27.5	
達成率	%	—	100.0	
達成状況	—	—		



### 全体目標に対するまちづくり評価

文化芸術活動を行っている市民の割合について、前回の平成22年度ではの実績値が基準値を下回っていたが、平成25年度の実績では目標が達成できていると思われる。最近の社会環境の変化などで、余暇の時間の過ごし方や有効利用しようとする年代層(市民)の増加が見受けられたもので、文化芸術活動や交流活動に興味を持ち、少なからずとも心豊かな生活を送っていけるように、さらなる事業の展開を図っていただきたい。

**個別目標①** 市民が文化芸術活動を積極的に行っている。

指標名	文化芸術活動を行っている市民の割合					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・文化振興事業 ・文化協会事業
目標値	%	—	1.4	1.4	1.5	
実績値	%	1.3	1.2	1.1		
達成率	%	—	85.7	78.6		
達成状況	—	—				

### 取り組みの状況

市民	市の主催する「民踊講習会」、「教養講座」へ参加した。また、「美術展」への出品や参観、文化協会主催の「文化祭」に参加した。
市役所	武功夜話セミナーを少ホールで開催した。また、民踊講習会や美術展等を開催し文化芸術にふれあう場を提供したとともに文化協会主催の文化祭の開催を支援した。

指標名 市民文化会館の稼働率						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	50.8	52.3	53.8	・市民文化会館管理運営事業 ・市民文化会館設備改修事業(第2期) ・市民文化会館設備改修事業(第3期)
実績値	%	47.8	49.5	54.6		
達成率	%	—	97.4	104.4		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市民文化会館指定管理者が企画する自主事業に参加した。また、会議や作品展示、芸術活動のため、会議室や大・小ホールを利用した。					
市役所	市民が安心して市民文化会館を利用するため、市民アンケートをとり、意見や要望を把握した。また、運営委員会を開催し、指定管理者と事業内容などについて協議を行った。21年度よりモニタリングを実施し、自己評価をしつつ、市民サービスの向上を図った。					

指標名 美術展出品者数						
	単位	H21 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	236	248	260	・美術展事業
実績値	人	224	221	222		
達成率	%	—	93.6	89.5		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市が主催する美術展に作品を出品した。					
市役所	美術展を開催し、市民から作品を募集することで、市民への美術、芸術作品の創作意欲や関心が高まるよう事業を展開した。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>今後、文化会館等を利用し、芸術等の活動をしている若い世代にも文化協会に加入し芸術文化の振興に寄与するよう、働きかけていきたい。</p> <p>また、市民文化会館大・小ホールの割引制度をPRし、利用者を増やしていきたい。</p> <p>今後の重点課題として、市民文化会館を安全で確実な施設として、利用者に安心して利用できるよう設備等の改修を計画的に実施し、文化芸術の発信の基点としていく。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>市民が芸術文化事業に関心をもつためには、市が美術展や講演会、セミナーや教養講座など多種多様のイベントを開催するとともに、PR活動を積極的に実施していただきたい。</p> <p>また、活動拠点の市民文化会館が市民にとって、さらなる芸術文化の振興拠点としての事業展開をしていただきたい。その一環として、市民文化会館大・小ホールの利用方法や文化会館の自主事業のPR活動を積極的に行うなど、市民サービスの向上を図っていただきたい。</p>	

個別目標② 郷土の歴史・文化が正しく理解され、郷土に対する愛着や誇りをもっている

指標名 指定文化財の数【国】						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・文化財保護事業
目標値	件	—	5	5	5	
実績値	件	5	5	5		
達成率	%	—	100.0	100.0		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	管理者は国指定文化財を損なうことなく保存及び管理に努めた。					
市役所	管理者に対し文化財保護助成金を交付し、文化財の保護、育成に努めた。					

指標名 指定文化財の数【県】						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・文化財保護事業
目標値	件	—	9	9	9	
実績値	件	9	9	9		
達成率	%	—	100.0	100.0		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	管理者は県指定文化財を損なうことなく保存及び管理に努めた。					
市役所	管理者に対し文化財保護助成金を交付し、文化財の保護、育成に努めた。					

指標名 指定文化財の数【市】						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・文化財保護事業
目標値	件	—	92	92	92	
実績値	件	92	94	94		
達成率	%	—	102.2	102.2		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	管理者は市指定文化財を損なうことなく保存及び管理に努めた。					
市役所	管理者に対し文化財保護助成金を交付し、文化財の保護、育成に努めた。					

指標名		登録有形文化財の数【登録】					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25		
目標値	件	—	3	3	3	・文化財保護事業	
実績値	件	2	3	3			
達成率	%	—	100.0	100.0			
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	管理者は登録有形文化財を損なうことなく保存及び管理に努めた。						
市役所	管理者に対し、登録有形文化財の保存、管理に努めるよう依頼した。						

指標名		文化財普及事業への参加者数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25		
目標値	人	—	5,800	5,875	5,950	・歴史民俗資料館事業 ・文化財保護事業	
実績値	人	5,647	11,182	13,146			
達成率	%	—	192.8	223.8			
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	市が主催する歴史民俗資料館の企画展の参加や、常設展示している歴史民俗資料館を参観した。 また、郷土の歴史を知る機会の「武功夜話セミナー」を開催し郷土の歴史への愛着と理解できた。						
市役所	多くの市民が、歴史民俗資料館の展示物や文化財に関心をもっていただくために、各種企画展を開催した。また、中学生歴史教室を開催し、中学生に江南の歴史や文化財に対する関心を深めた。						

目標達成のための今後の展開方針	
<p>国指定重要文化財の曼陀羅寺正堂の桧皮葺屋根が、経年劣化により改修を必要としているため、平成25年度から改修工事を予定しているため、その事業に国、県、市の補助事業として支援していく。</p> <p>郷土の歴史では、依然として武功夜話への関心が深まっており、継続して武功夜話セミナー開催する。</p> <p>歴史民俗資料館での企画展をたくさんの市民に観てもらえるようにPRする。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>江南市は、戦国武将織田信長に関わりのある史跡や寺社など文化財が豊富なまちである。</p> <p>新たに市の指定文化財に登録された、「東野神社神事よほほい祭り」「木造観音菩薩・勢至菩薩立像(鞘仏)」と「木造観音菩薩・勢至菩薩(胎内仏)」のPRを積極的に行っていただきたい。併せて「文化財めぐり」などの事業を市が企画することも効果的であると思います。</p> <p>また、歴史民俗資料館で行う企画展に足を運んでいただくよう積極的にPRを行っていただきたい。</p>	

個別目標③ 世界平和の重要性が認識され、在住外国人も安心して暮らしている

指標名 江南市国際交流協会の事業(多文化共生事業)に参加する外国人の数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	280	320	360	・国際交流推進事業 ・多文化共生推進事業
実績値	人	220	390	513		
達成率	%	—	139.3	160.3		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市及び江南市国際交流協会が主催する国際交流事業に参加した。					
市役所	様々な国籍の市民が共存する多文化共生社会を構築するため、国際交流フェスティバルや国際理解講座、外国の料理教室などを市と江南市国際交流協会が連携し開催した。					

指標名 江南市国際交流協会の事業(多文化共生事業)に参加する日本人の数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	2,000	5,400	5,600	・国際交流推進事業 ・多文化共生推進事業
実績値	人	1,800	6,651	6,474		
達成率	%	—	332.6	119.9		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市及び江南市国際交流協会が主催する国際交流事業に参加した。					
市役所	様々な国籍の市民が共存する多文化共生社会を構築するため、国際交流フェスティバルや国際理解講座、外国の料理教室などを市と江南市国際交流協会が連携し開催した。					

指標名 世界平和を願うパネル展の来場者数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	1,300	1,350	1,400	・世界平和・国際協力推進事業
実績値	人	1,198	1,403	972	1,450	
達成率	%	—	107.9	72.0	103.6	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市が主催する世界平和を願うパネル展に参加した。					
市役所	平和の尊さ、原爆の悲惨さを広く市民に啓発するために、すいとびあ江南、市民文化会館、市役所ロビーにおいてパネル展を開催するとともに、市立全中学校で原爆パネル展や平和朗読劇を開催した。					

### 目標達成のための今後の展開方針

外国人の児童が多く通学している藤里小学校の余裕教室を国際交流ルームとして、言葉の壁や習慣の違いで戸惑っている外国人の子どもを対象とした日本語教室等の支援活動を、ふくらの家とともに実施する。また、国際交流協会が、日本語学習や子どもの学習支援などの事業に多くの外国人が参加できるように、国際交流協会の活動を支援していく。

### 個別目標に対するまちづくり評価

長引く経済不況のなか、職を失った外国人に対し、市は、江南市国際交流協会と密接に連携し、雇用相談や日本語教室の開設など、定住外国人の目線に沿ったきめ細かい支援活動を行うよう要望します。また、国際平和の実現には国際交流を深め国際協力の推進を図ると共に、戦争の悲惨さや世界平和の重要性を市民に啓発することが必要である。今後も、次代を担う市内小中学生が戦争の悲惨さを学び、平和の大切さを理解できるよう、パネル展などを通して平和教育の推進をお願いしたい。

## 柱全体のまちづくり評価

### ◆柱全体の得られた成果

文化芸術活動を行っている市民の割合について、最近の社会環境の変化などで、余暇の時間の過ごし方や有効利用しようと関心を持つ年代層(市民)の増加が見受けられたもので、文化芸術活動や交流活動に興味を持ち、少なからずとも心豊かな生活を送っていると感じているのではないかとと思われる。また、文化財保護の観点から、指定文化財を増やしたことや、市内各区の文化財的財産を市民自ら保護しようとする傾向が見受けられる。そのような観点から目標を達成でき、達成状況に晴れマークが表示できたものとする。

### ◆柱全体の今後の課題

今後、市民の高齢化が進み就労の機会がない世代や、子育てや親の介護との両立に迫られる世代にも文化芸術活動や交流活動を通じて、心豊かな生活を送っていると感じるような事業の展開を図っていくことが必要である。また、世界平和に向けた啓発をしていくことが重要であると考えられ、市民や次世代を担う中学生にも平和活動の啓発に努めていく必要がある。

### ◆柱全体の今後の取り組みの方向性